

報道各社 御中

令和3年11月10日
大阪体育大学広報室

ハンドボール部女子が 前人未到のインカレ8連覇

ハンドボールの高松宮記念杯男子第64回・女子第57回全日本学生選手権大会は10日、甲府市の小瀬スポーツ公園体育館で男女の決勝が行われました。

女子は、大阪体育大学が東京女子体育大学を延長の末、32—30で破り、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い中止となった昨年をはさんで、男女を通じて史上最長となる8大会連続優勝（9回目）を果たしました。

ハンドボール部女子は2018年に6連覇を達成し、他大学が持つ同種目のインカレ連続優勝記録の5連覇を44年ぶりに更新していました。

監督の楠本繁生・体育学部教授は試合後、連覇の回数8回、胴上げされました。楠本監督は女子日本代表「おりひめ JAPAN」の新監督に就任し、12月にスペインで開催される第25回女子世界選手権で初めて指揮を執ります。代表メンバー20名には、本学の卒業生13名が含まれています。

ハンドボール部女子は来年1月5～9日に熊本県で開催される第73回日本選手権大会（女子の部）で、前回2年連続の準優勝となった雪辱を期します。

また、本学のハンドボール部男子は10日の決勝で中央大学に28—32で敗れ、2大会ぶり11回目の優勝を逃しました。



<楠本繁生監督の話>

コロナ禍の影響でメンバーを固定できなかったが、総力戦で勝つことができ良かった。8連覇となったが、「8」は単なる数字であり、これからも記録ではなく記憶に残る試合を積み上げていきたい。少し休んでから、次の日本選手権（1月5～9日・熊本県）に向けてチームを仕上げていく。

<山本春花主将の話>

今春卒業した先輩は圧倒的に強く絶対に優勝できたはずなのに、昨年は大会がなくなった。先輩の分も優勝することができ、素直にうれしい。

※写真の提供などをご希望の方は下記にご連絡ください。

【大阪体育大学広報室】

大阪府泉南郡熊取町朝代台1-1 TEL 072-453-7021 FAX 072-453-8818
担当・大坪、小崎 koho.users@ouhs.ac.jp